

萱野 稔人氏

「死刑」を哲学する

今日、先進国のほとんどでは死刑制度が廃止されていますが、日本はそうした中であって、同制度を存置している数少ない国の一つです。死刑の存廃をめぐるっては、これまでも数々の議論がなされてきました。しかし、死刑とはそもそもいったい何なのでしょう。本講演会では、死刑について改めて根本的に問いなおすために、哲学者の萱野稔人氏をお招きし、近著『死刑——その哲学的考察』（筑摩書房、2017年）についてお話を伺います。

講演者

萱野 稔人(かやの としひと)

哲学者。1970年生まれ。2003年、パリ第10大学大学院哲学科博士課程修了。博士(哲学)。現在、津田塾大学総合政策学部教授。著書に『国家とはなにか』(以文社、2005年)、『カネと暴力の系譜学』(河出書房新社、2006年)など。TVでも『Live News α』(フジテレビ)、『情報ライブ ミヤネ屋』(読売テレビ)などにコメンテーターとして出演中。



日時

11月9日 土 14:00~16:30
(開場13:30)

場所

西南学院大学博物館2階講堂

入場無料

予約不要

(当日先着120名)

主催：藤田ゼミ(教育支援プログラムB「死刑を哲学する——萱野稔人氏を招いて」)

後援：西南学院大学国際文化学部

お問い合わせ：kojiro@seinan-gu.ac.jp(藤田)

プログラム

司会：藤田公二郎(国際文化学部講師)

第一部 14:00~15:00

講演 萱野 稔人

第二部 15:10~16:30

トークセッション

- 萱野 稔人
- 平井 佐和子(法学部教授)
- 森田 團(国際文化学部教授)
- 藤田ゼミ学生代表